

【編集後記】スタンフォードの博士課程で政治学を学び、大蔵省から学者の道に転じてからも13年の竹中治堅さんは、今や押しも押されぬ有力学者ですが、なんといつても40代そこそこであって親父のような世代の多い経済倶楽部会員を前にするとそれなりに緊張感があるようで。今回は原稿チェックが校了ぎりぎりで危ないところでした。

気鋭の経済学者と呼ぶにふさわしいのが若田部昌澄さん。話はいつも極めて明快で、日銀に對しても歯切れのいい批判を展開されます。石橋湛山賞受賞者の中でも石橋さんの存在で、確を展開する最右翼の存在で、確かに石橋さんだったら今の金融政策には×をつけるでしょう。

ますます油の乗った感のある山田昌弘さんの活躍ぶりですが、

時代を切り取るキーワードを考へ出す才能はご立派です。講演では冗談連発の気配ですが会員が笑い損ねてしまう場面がしばしば。でも原稿には(笑)が随所にあります。奥様はかつて東洋経済で仕事をされていました。

立て板に水の話しっぷりといえ、小林和男さんの右に出る人は少ないですが、しゃべること、が商売のNHK出身ですから当然かも。音楽大好きでロストロポーヴィッチ夫妻やゲルギエフとも極めて親しい仲です。ロシア音楽特集だった今年のラ・フォル・ジュルネ(東京)もはしごして堪能されたとか。

次号は矢吹晋氏(中国の権力闘争)、田中弘氏(IFRSⅡ会計戦争)、寺島実郎氏(日本の進路)、平田竹男氏(なでしこジャパン論)です。(A*T)

東洋経済 経済倶楽部講演録 (2012年6月号)

2012(平成24)年6月20日発行

本書内容の複写・複製・転記載・磁気媒体への入力はお断りします。

発行人 柴生田晴四 編集人 浅野純次

発行 東洋経済新報社
編集 社団法人 経済倶楽部

〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1(東洋経済ビル9階)

電話 03-3270-0681 Fax 03-3270-0987

e-mail; keizaiclub@nifty.com

ホームページ <http://www.keizaiclub.or.jp>

印刷・製本 東港出版印刷

〈本誌は全国の経済倶楽部会員向けに刊行され、市販はいたしません〉